

## 履 修 案 内

農学部における教育職員免許状の取得にあたっては、第3セメスター（2年次春セメスター）から農学部教職コースに所属し、所定の条件をすべて充足する必要があります。それにはまず、第2セメスター終了時に「農学部教職コース」受講条件チェックを受けなければなりません（受講条件チェックを受けられる機会は、この1回のみです）。詳細は、以下の記載内容とともに、本要覧の「所属学科の教育課程表」、「教育職員免許状・資格をとるために」を参照してください。

農学部教職コースへの配属希望者は、これらの内容をあらかじめ熟読の上、1年次に予定されている関連のガイダンスに出席し、必要な手続きを行ってください（詳細は掲示等を通じて、またはガイダンス時に案内します）。第2セメスター終了時の条件を満たして、農学部教職コースの受講を許可された学生は、下記の進捗チェック・卒業要件を充足させることにより、進級・卒業することができます（第3セメスター以降の進捗チェック、卒業要件は所属学科のものとは異なるので注意してください）。

なお、本学他学部（農学部以外）からの2年生以上への転学部生、ならびに他大学からの編入学生は、農学部教職コースを受講することはできません。

## ●卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

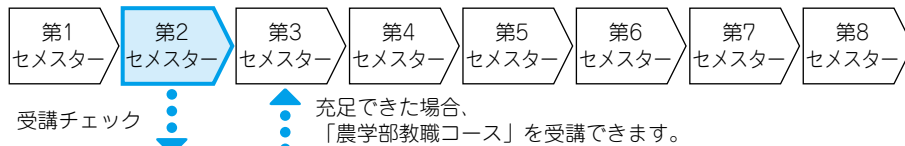
- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上（上限32単位まで）を修得していること。
- ③ 農学部教職コースが指定する当該学科科目群の必修講義科目をすべて修得していること。
- ④ 農学部教職コースが指定する当該学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目をすべて修得していること。
- ⑤ 「卒業教材研究」2単位を修得していること。
- ⑥ 教育職員免許状（最低1つ）を取得するために必要な要件を満たしていること。
- ⑦ 上記条件を充足して、合計124単位以上を修得していること。

## ●進捗チェック

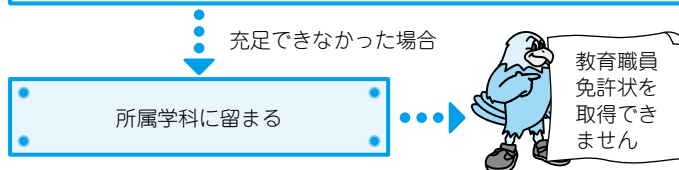
第2セメスター、第4セメスターおよび第6セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は現セメスターに留まります。

教育職員免許状の取得を希望する学生は、以下の条件を満たしていること。

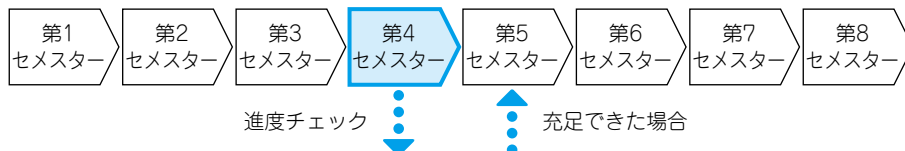
### (1) 第2セメスター（1年次）終了時における「農学部教職コース」受講チェック



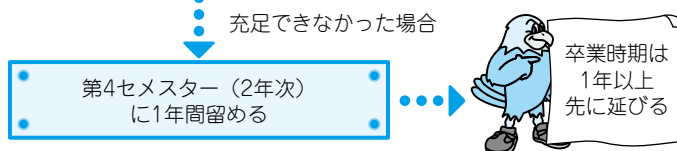
- ① 学習継続条件および所属学科の進捗チェックを充足していること。
- ② 生物資源学科・生物環境システム学科の学生は「生物学」「化学基礎」、生命化学科の学生は「生物学基礎」「化学Ⅰ・Ⅱ」を修得していること（第2セメスターで「日本国憲法」を修得するのが望ましい）。
- ③ 累積GPAが2.30以上であること。



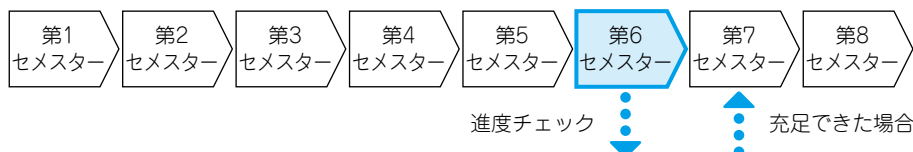
### (2) 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



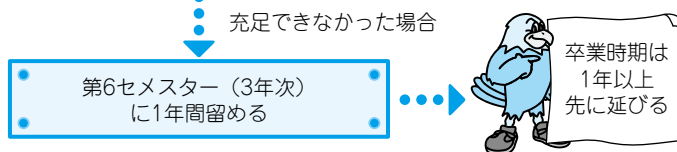
- ① 学習継続条件を充足していること。
- ② 総単位数62単位以上を修得すること。
- ③ 累積GPAが2.30以上であること。



### (3) 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



- ① 学習継続条件を充足していること。
- ② 総単位数102単位以上を修得していること。
- ③ 累積GPAが2.30以上であること。



教育実習へ行くためには、第6セメスター終了時に、以下の科目の単位を修得していることが条件となります。「教師論」「教育の原理」「人間の発達と学習」「各教科の指導法Ⅰ・Ⅱ」「教育実習（事前指導）」

## ●履修上の留意事項

①コア科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。

「生物学入門」「化学入門」

②各学科の時間割中、◇のマークで示した科目は、抽選のないコア科目です。

◇「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 ◇「英語コミュニケーション」	生物資源 生物環境システム 生命化学	コア・言語表現科目群
（「英語コミュニケーション」は、必修科目です。p.215を参照）		
◇「経済学」 ◇「科学技術史」	生物資源 生物環境システム	コア・社会文化科目群
◇「地球科学」 ◇「宇宙科学」	生命化学	コア・自然科学科目群
◇「環境科学」	生物環境システム 生命化学	コア・総合科目群
（各学科の「重点科目」ですが、必修科目ではありません）		

これらの科目については、履修登録の際、他の学科科目と同様に登録してください（抽選を行いません）。

③修得済みの科目については、原則として再履修することはできません。

ただし、第4セメスター（または第6セメスター）の進捗チェックで履修条件を満たせずに、第4セメスター（または第6セメスター）に留まった場合には、第3～4セメスター（または第5～6セメスター）に修得した農学部開講講義科目のうちC評価科目を再履修することができます（実験・実習・演習科目、コア科目は再履修できません）。

再履修によってB以上の評価を得られた場合には、再履修の評価結果をもってその科目の評価とします。その結果、GPAの数値を上げることが可能です。

④時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。

## ●農学部教職コース受講の取り消しについて

農学部教職コースの受講を許可された学生で、下記の資格を満たす者が受講の取り消し（すなわち、所属学科の課程に戻ることを希望する場合は、以下の通り願出してください）。

出願資格：

- ① 第4セメスター（2年次）に在籍している者
- ② 教職以外の進路を強く希望する者

出願方法：希望者は、事前に保証人の了解を得た上で、第4セメスターの11月末日までにクラス担任と相談してください。その後12月中に「農学部教職コース受講取消願出」用紙を授業運営課で入手してください。提出先は授業運営課、提出期間は1月上旬（冬休み終了後1週間）を予定しています（詳細は上記の用紙入手時に授業運営課にて確認してください）。

※取り消し希望については所属学科および農学部の諸会議にて審議の上、その結果を希望者本人に文書で連絡します。また、取り消し希望が認められた場合は、それ以降に教職コースを再び受講することはできません。所属学科の課程に戻る際の単位修得状況によっては、卒業時期が遅くなる場合がありますので、十分検討の上、出願してください。